

令和7年度 朝日中学校

全国学力・学習状況調査の本校の結果について

本年度の4月に3年生対象に実施されました全国学力・学習状況調査の結果について、本校の概要をお知らせします。

なお、本調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面にすぎないことをお断りしておきます。

教科の調査結果

【表の見方】 ◎…5%以上、上回る ○…±5%未満 △…5%以上、下回る

	国語	数学	理科
全国との比較	○	○	○
福井県との比較	○	○	○

国語に関する分析

良好な点

【話すこと・聞くこと】

- ・自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫すること。
- ・資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。

【全体】

- ・話すこと・聞くこと・書くことの問題において、平均正答率が県平均と比べて高かったこと。

改善を要する点

【読むこと】

- ・表現の効果について、根拠を明確にして考えること。

【知識・技能】

- ・文脈に即して漢字を正しく使うこと。

【全体】

- ・読むことの問題や記述式の問題において、平均正答率が県平均と比べて低いものがあったこと。

数学に関する分析

良好な点

【数と式】

- ・連続する二つの3の倍数の和がどんな数であるかを考えたり、連続する三つの数の和が9の倍数になることを説明したりすること。

【データの活用】

- ・度数分布表を読み取り、特定の階級の相対度数を求めること。
- ・じゃんけんを元にしたカードゲームについて、どちらが勝ちやすいかを確率を求めて説明すること。

【全体】

- ・記述式の問題（全5問）において、平均正答率が県平均と比べて高かったこと。

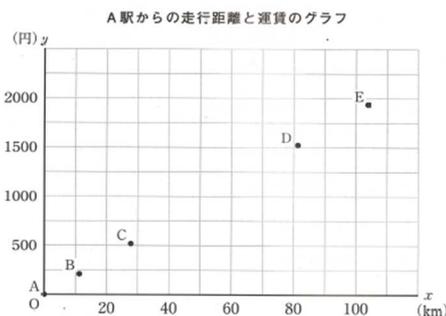
改善を要する点

【数と式】

- ・文字を用いた式で数量を表すこと。（果汁40%の飲み物 a mL に含まれる果汁の量を a を用いた式で表す。）
- ・説明を完成させるために、予想が成り立たない例（反例）を見つけること。

【関数】

- ・一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合をもとにして x の増加量に対する y の増加量を求めること。
- ・グラフから必要な情報を読み取ること。



(1) 歩夢さんは、前ページのA駅からの走行距離と運賃のグラフを見て、C駅とD駅間の走行距離は、他の駅と駅間に比べて長いと思いました。

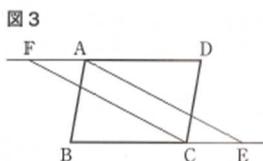
C駅とD駅間の走行距離は、A駅からの走行距離と運賃のグラフの何を読み取ればわかりますか。下のAからEまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

- ア 点Dの x 座標と原点の x 座標の差
- イ 点Dの x 座標と点Cの x 座標の差
- ウ 点Dの y 座標と原点の y 座標の差
- エ 点Dの y 座標と点Cの y 座標の差

【図形】

- ・ある事柄について条件が付け加えられた際、その条件を活用して証明を完成させること。

(3) 次の図3のように、平行四辺形ABCDの辺BC、DAを延長した直線上に、 $BE = DF$ となる点E、Fをそれぞれとります。



さらに、次の図4のように、辺ABと線分FCの交点をG、辺DCと線分AEの交点をHとすると、四角形AGCHも平行四辺形になります。

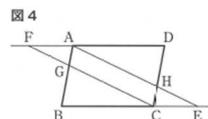


図4において、四角形AGCHが平行四辺形になることは、2組の向かい合う辺がそれぞれ平行であることを示すことで証明できます。四角形AGCHが平行四辺形になることを証明しなさい。ただし、四角形FCEAが平行四辺形であることはすでにわかっていることとします。

【全体】

- ・思考・判断・表現よりも、知識・技能の問題についての誤答が多かった。

理科に関する分析

良好な点

【粒子】

- ・探究の過程における自分の振り返りを記述すること。

【地球】

- ・各地層の特徴から水が染み出る場所を判断すること（科学的な見方・考え方）。

【全体】

- ・記述式の問題や思考力・判断力を問われる問題において平均正答率が県と比べて多かった。
- ・「他者の振り返りを活用して記述する問題」の正答率が高かったことから、授業の中で振り返りを共有する時間を設けることが大切だといえる。

改善を要する点

【粒子・生命】

- ・元素記号を記述すること。
- ・生物の呼吸や体のしくみを答えること。

【エネルギー】

- ・表を読み取って、オームの法則が成り立つ選択肢を選ぶこと。

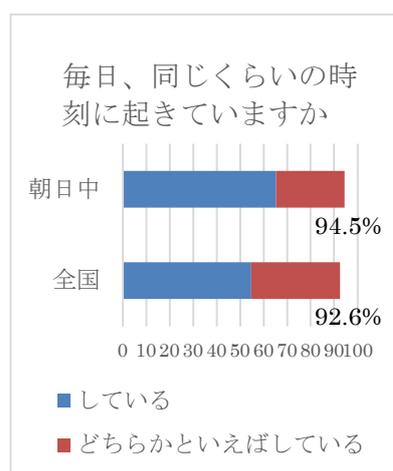
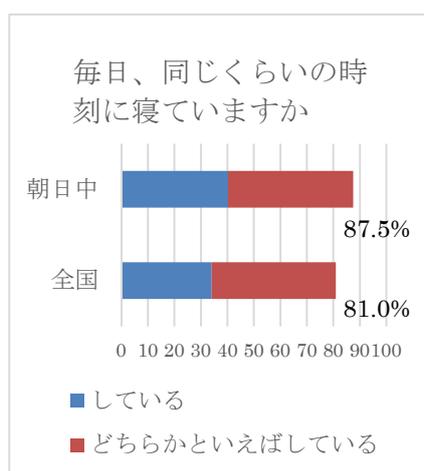
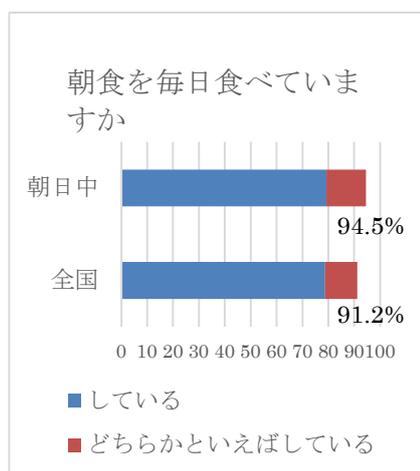
【全体】

- ・基礎的な知識技能やグラフや表の読み取りに関する問題において誤答が多かった。

生徒質問に関する結果

良好な点

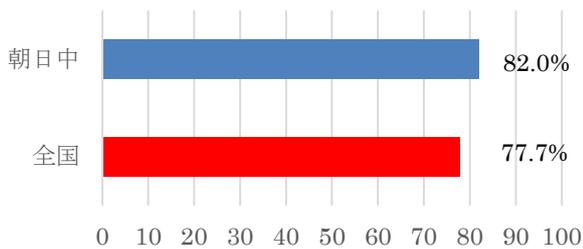
生活習慣に関すること



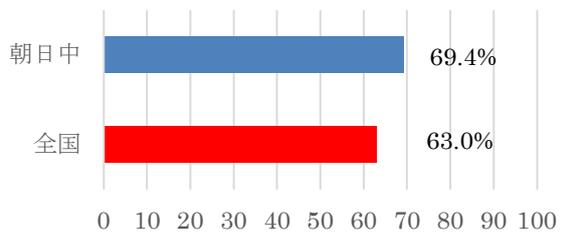
○基本的な生活習慣を送ることができている生徒が多いです。また、全国と比べても割合が高いのは良好な点です。一方で、全く、あるいはあまり朝食を食べてこない生徒がいるのが課題です。

授業に関すること

1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。



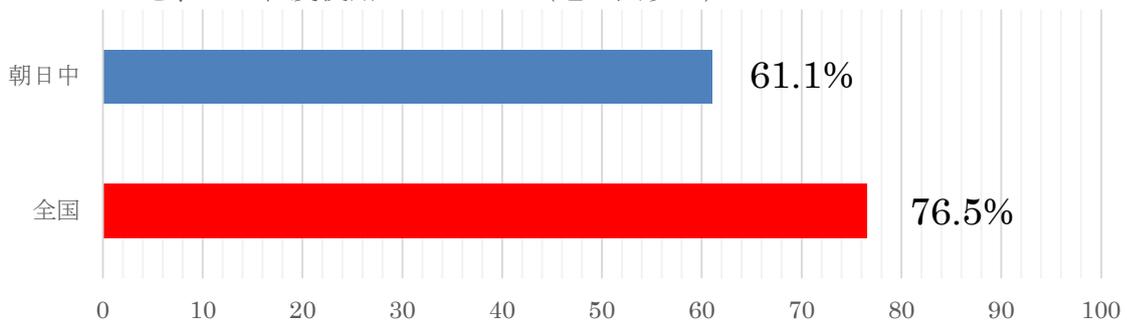
※グラフは、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した生徒の割合の合計を%で表したものです。

○授業では、課題の解決に向けて、自ら考え、意欲的に取り組んでいる生徒が多いことが分かります。また、自分の考えを工夫して発表している割合も全国と比べ高くなっています。

改善を要する点

ICT 機器の使用に関すること

1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか（週3回以上）



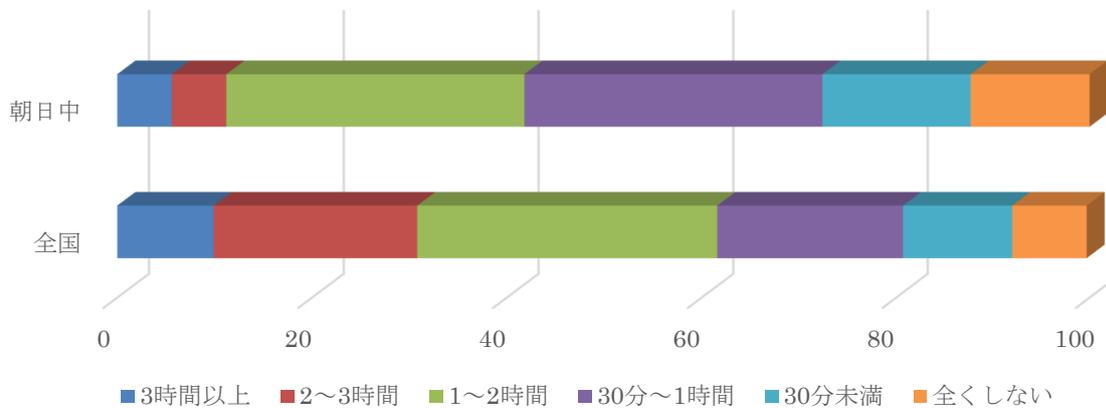
※グラフは、「週3回以上」と回答した生徒の割合の合計を%で表したものです。

○朝日中では、授業中にタブレットを使用する割合が昨年度よりも 8.8 ポイント改善しましたが、全国と比べるとまだ低いことが分かります。

この結果は、ICT 活用の重要性が高まる中で、本校としてもさらなる取り組みが必要であることを示しています。ICT 活用は、子どもたちの主体的な学びや情報活用能力の向上に直結します。ICT を効果的に活用するための教員研修を定期的実施し、改善を図っていきます。

家庭での学習時間に関すること

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



○全国と比べて家庭学習に 30 分~2 時間取り組む生徒の割合が多いです。一方で、家庭学習に長い時間取り組む生徒が少なく、また全く取り組まない生徒が多いのが課題です。

改善に向けて

全国学力・学習状況調査の結果をもとに教科毎に分析を行いました。授業改善に向け、アイデアを出し合い、今後の取組みを決めました。

- 生徒一人一人の語彙力が高まるようになっていく。言葉を調べるなどの活動だけを行うのではなく、多くの言葉に触れる機会を作ったり、言葉を使う場面を設けたりしていく。【国語科】
- 「関数 $y = ax^2$ 」の変化の割合を学ぶ際に、1・2年生時に学んだ一比例・反比例や一次関数ではどのように変化の割合を学んだか生徒自身で復習し確認するなど、単元の系統性を意識して既習事項を復習する機会を設けていく。
- 数学的な根拠をもとにして証明する力をつけるために、与えられた条件から分かることを話しあったり、筋道を立てて説明できているか確認しあったりする学習活動を積極的に行っていく。【数学科】
- グラフや表をじっくり読み取る時間を設け、科学的な根拠を、資料を用いて説明する機会を増やす。
- ICT等を活用し、授業毎に振り返りを行い学習内容の定着を図る。【理科】
- 小さな成功体験を積み重ねながら、自己肯定感を高められる活動の場を設定する。【共通】

保護者の皆様のご協力もあり、毎日朝食を摂ったり、決まった時間に起床就寝したりすることができています。基本的な生活習慣を整えることで、心の安定、学校での学習や活動の意欲向上につながります。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。また、お子様の家庭学習時間、ゲームやSNSの使用時間など、ご家庭での時間の使い方に適切なご支援やアドバイスをお願いします。